

みやぎのだより

No. 80

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成26年5月26日



青年部大崎支部ボウリング大会

CONTENTS

輸入粗飼料情勢について……………	1	4度目の優秀安全運転事業所表彰を受ける……………	8
平成25年度生乳需給状況について……………	3	酪農動向調査……………	8
畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催……………	5	第65回通常総会・地区別説明会の開催について……………	9
平成26年度酪農ちびっ子勉強村春季交流会に参加……………	5	受精卵子牛市場情報……………	9
生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会 モニタリング実施……………	5	理事会通信……………	9
第43回東北酪農発表大会開催される……………	6	業務報告(3月～4月分)……………	10
TPPから『食とくらし・いのち』を守る4・21県民集会開催される……………	6	人事のお知らせ……………	11
New face ～新人紹介～……………	7	編集後記……………	11
宮城県酪農協会婦人研修会について……………	8		

輸入粗飼料情勢

北米コンテナ船情勢

4月～6月のBAF(燃料価格変動に対して調整される運賃)は多くの船会社で5ドルの値上げが実施されました。GRI(基礎レート)については値上げを発表しておりましたが大半が6月以降に延期される模様です。

6年ごとに更新される西海岸港湾労使協定が2014年6月で失効となり、5月中旬より雇用主と労働組合の本格的な労使協議が開始されます。

両者の主張には、大きな隔たりがあるようで交渉は長期化、難航すると見込まれ今後の動向に注意が必要です。

①ビートパルプ

(US産)

13年産は、砂糖相場の価格が低調に推移しており、また、作付けの遅れから、生産量は12年産より5%程度減少している模様です。

14年産は主産地のミネソタ、ノースダコタ州で作付けが開始されました。冷涼な気候が続いていることから進捗が遅れていると伝えられております。カリフォルニア州の旱魃の影響からアルファルファの価格が高騰しており、米国内の酪農家からビートパルプの引き合いがかなり強くなっており、欧州からの引き合いも強いことから、価格は堅調に推移すると予想されております。

(中国産)

13年産の作付面積が減少していることから、前年より生産量は減少しております。中国国内での需要が増えていることから、引き続き日本や韓国への輸出は限定的となり価格も強含みで推移すると予想されております。

②アルファルファ

(ワシントン産)

主産地のコロンビアベースンでは作付面積は昨年同様と予想されております。5月の中旬から一番刈りの収穫が始まる予定です。

(オレゴン産)

クリスマスバレー、クラマスFとも作付面積は前年と変わらない予想です。カリフォルニア州の酪農家からの引き合いが強くなっております。

(カリフォルニア産)

カリフォルニア州中央部、ネバダ州北西部において、旱魃が続いております。農業用水不足から2番刈りで終了するとの噂もでております。北カリフォルニアでは収穫が始まっております。米国内での乳価が高く推移しており、カリフォルニア州の酪農家から引き合いが強く、昨年同時期と比較すると価格は高騰しております。



〔アルファルファ1番ワシントン産4月下旬〕



〔US産チモシー1番ワシントン産4月下旬〕

③チモシー

(US産)

14年産のワシントン産の作付面積は増えております。当初15～20%増えると予想されておりましたが、降雪、凍結の影響から5～10%の増加と予想されております。

コロンビアベースンでは5月下旬、エレンスバーグでは6月上旬から収穫作業が始まる予定です。近年は日本以外にも需要が広がり始め、昨年と変わらない価格で契約を始めているサプライヤーがいる模様です。

(カナダ産)

主産地、レスブリッジ、クレモナとも近年作柄が悪くても高く売れていることから作付面積は増える予想されております。こちらもUS産同様に日本向け以外に他国でも需要は広がりつつある模様です。

④スーダン

小麦価格の軟調からインペリアルバレーでは小麦の作付面積が減少し、その影響から早播きスーダンの作付面積は、4月中旬時点で昨年より16%程度増えております。

カリフォルニア州では早魃の影響で作付面積は減少すると予想されております。

⑤豪州産オーツヘイ

13年産はどの産地でも単収は多くなりましたが殆んど雨あたり品となっております。軽い雨あたりの為、分析値が良くない傾向となり見た目のよい中間グレード品の発生量が多くなっており、ハイグレード品は限定的な物となっております。

産地では、4月下旬より播種作業が開始されております。西豪州、南豪州、東豪州ともに適度な降雨があり現時点では順調なスタートとなった模様です。

以上の状況の中、組合員の皆様には安定供給に務めて参りますので、組合の購買事業にご理解いただきご利用賜いますようお願い申し上げます。

平成25年度 生乳需給状況について

販売課

1. 全国

平成25年度4月～3月の全国の受託乳量は7,186,345ト、前年同期比98%と減少しました。地域別では北海道が98.3%、都府県が97.8%と前年を下回りました。

平成25年度 全国生乳受託実績

(単位: ト、%)

地区	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	第4四半期	前年比	平成25年度計	前年比
北海道	983,293	101.4	943,724	98.0	914,289	96.9	919,618	96.9	3,760,924	98.3
都府県	911,467	98.9	825,354	97.7	832,324	97.7	856,276	96.8	3,425,421	97.8
全国	1,894,760	100.2	1,769,078	97.8	1,746,613	97.3	1,775,894	96.8	7,186,345	98.0

2. 東北

東北全体で平成25年度4月～3月の受託乳量は570,260トで前年同期比97.9%となり、東北の出荷目標数量595,774トに対しても計画比95.7%と下回りました。

平成25年度 東北生乳受託実績

(単位: kg、%)

県	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	第4四半期	前年比	平成25年度計	前年比	生乳出荷目標数量
青森	17,666,506.0	99.6	16,455,217.0	99.1	16,378,271.0	98.3	16,555,771.0	97.1	67,055,765.0	98.5	69,618,000
岩手	54,333,366.0	100.9	50,760,884.0	97.9	50,211,929.0	97.2	50,976,109.0	97.2	206,282,288.0	98.3	214,634,000
宮城	32,388,568.0	99.3	30,032,116.0	98.8	29,986,632.0	99.0	30,220,852.0	96.3	122,628,168.0	98.3	127,557,000
秋田	7,966,781.0	96.7	7,375,930.0	94.9	7,539,408.0	95.7	7,342,186.0	91.8	30,224,305.0	94.8	32,622,000
山形	18,515,207.4	96.5	17,104,486.3	97.0	16,535,412.1	96.6	16,658,799.6	94.5	68,813,905.4	96.2	73,200,000
福島	19,755,831.0	99.7	18,670,479.0	100.1	18,443,687.0	99.2	18,385,721.0	95.1	75,255,718.0	98.5	78,143,000
計	150,626,259.4	99.5	140,399,112.3	98.3	139,095,339.1	97.8	140,139,438.6	96.1	570,260,149.4	97.9	595,774,000

3. 用途別販売実績

平成25年度の東北の用途別販売実績は、飲用牛乳向け403,981トと前年より0.4%減少、特定乳製品向け70,831ト、前年より13.6%減少、はっ酵乳等向け0.9%増加、生クリーム等向けは前年同様で推移し、チーズ向けは4.6%増加しました。また、主な用途別シェアは、飲用牛乳向けが70.8%、はっ酵乳等向けが11.8%、特定乳製品向け12.4%となりました。

平成25年度 用途別販売実績

(単位: kg、%)

用途	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	第4四半期	前年比	平成25年度計	前年比
総受託販売乳量	150,626,259.7	99.5	140,399,112.3	98.3	139,095,339.1	97.8	140,139,438.6	96.1	570,260,149.7	97.9
飲用等向け	101,855,973.7	97.2	102,426,474.3	98.3	103,250,014.1	100.3	96,449,111.6	102.9	403,981,573.7	99.6
（うち学乳向け）	8,271,892.6	98.5	5,768,702.4	96.6	8,427,011.9	96.5	7,052,606.9	98.5	29,520,213.8	97.5
はっ酵乳等向け	18,558,557.0	109.9	18,669,203.0	107.0	15,407,265.0	97.1	14,839,667.0	89.1	67,474,692.0	100.9
乳製品向け	23,327,285.0	99.1	12,788,441.0	86.2	12,660,394.0	84.8	22,055,783.0	76.9	70,831,903.0	86.4
（うち委託加工向け）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生クリーム等向け	6,061,817.0	109.7	5,716,625.0	102.1	7,019,493.0	91.3	6,045,352.0	100.2	24,843,287.0	100.0
チーズ向け	817,707.0	109.1	794,689.0	103.3	754,533.0	98.7	745,925.0	107.7	3,112,854.0	104.6
全乳哺育向け	4,920.0	67.6	3,680.0	50.0	3,640.0	49.5	3,600.0	50.0	15,840.0	54.2

4. 宮城県

平成25年度4月～3月の販売実績122,628トンは前年比98.3%と減少し、生乳出荷目標数量127,557トンに対して4,929トンの未達となりました。また、宮城県の平成26年3月現在の出荷戸数は592戸と前年比較で26戸減少しました。

平成25年度 宮城県生乳受託販売実績

(単位: kg, %)

団体名	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		平成25年度計		生乳出荷目標数量
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		
みやぎの	18,155,064.0	99.0	16,756,193.0	97.3	16,916,795.0	98.2	16,950,296.0	95.6	68,778,348.0	97.5	72,140,000
全農宮城	5,020,018.0	95.7	4,693,827.0	97.2	4,675,634.0	98.6	4,811,055.0	97.6	19,200,534.0	97.2	20,201,000
宮城酪農	9,213,486.0	101.9	8,582,096.0	102.6	8,394,203.0	101.0	8,459,501.0	97.1	34,649,286.0	100.7	35,216,000
宮城県	32,388,568.0	99.3	30,032,116.0	98.8	29,986,632.0	99.0	30,220,852.0	96.3	122,628,168.0	98.3	127,557,000

5. みやぎの酪農バルク乳量

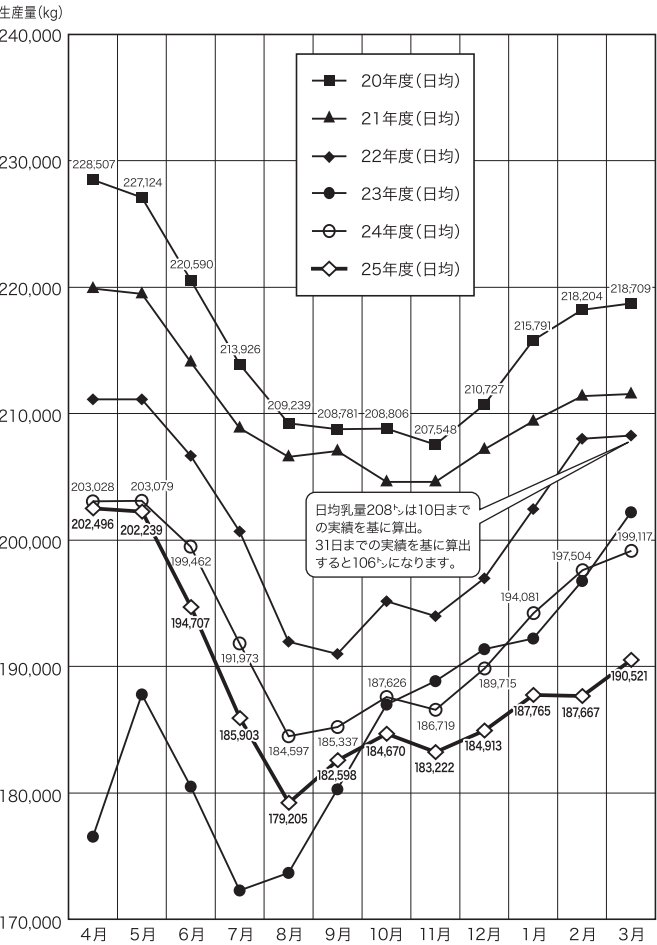
平成25年度4月～3月の生乳生産実績は68,917トんで前年同期比97.6%と減少し、また、みやぎの酪農の出荷戸数は平成26年3月現在で329戸と前年比較で15戸減少しました。

平成25年度 みやぎの酪農生乳生産実績(バルク乳量)

(単位: kg, %)

	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	第4四半期	前年比	平成25年度計	前年比
本 所	7,489,679.0	95.9	6,854,012.0	95.2	6,826,316.0	96.7	6,959,500.0	95.9	28,129,507.0	95.9
仙 南 支 所	8,326,681.0	100.0	7,782,641.7	98.2	7,935,385.1	97.8	7,781,678.0	94.3	31,826,385.8	97.6
登米事業所	2,369,146.0	105.9	2,159,617.0	102.5	2,192,031.0	103.0	2,240,378.0	101.4	8,961,172.0	103.2
合 計	18,185,506.0	99.0	16,796,270.7	97.5	16,953,732.1	98.0	16,981,556.0	95.8	68,917,064.8	97.6

みやぎの酪農乳量(日均)



平成25年度生乳生産実績(4月～3月 標準進捗率100%)

(単位: kg, %)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	25	6,975,604.5	7,096,655.1	98.29	7,285,242.0	95.75
七ヶ宿支部	6	2,115,411.7	2,172,056.3	97.39	2,233,185.0	94.73
蔵王支部	29	8,113,943.3	8,333,461.0	97.37	8,567,993.0	94.70
柴田支部	21	4,390,990.1	4,519,148.0	97.16	4,610,421.0	95.24
角田支部	7	2,230,256.0	2,365,015.0	94.30	2,431,575.0	91.72
丸森支部	14	3,075,279.3	3,118,151.0	98.63	3,205,906.0	95.93
仙台支部	12	3,833,932.9	3,816,176.0	100.47	3,906,526.0	98.14
名取支部	7	1,090,968.0	1,197,265.0	91.12	1,230,960.0	88.63
黒川支部	11	1,985,371.0	2,218,610.0	89.49	2,281,048.0	87.04
大崎支部	28	3,905,551.0	4,059,358.0	96.21	4,157,515.0	93.94
遠田支部	19	5,423,370.0	5,478,157.0	99.00	5,583,649.0	97.13
加美支部	22	3,034,221.0	3,251,719.0	93.31	3,302,744.0	91.87
鳴子支部	16	2,531,438.0	2,703,565.0	93.63	2,738,288.0	92.45
一迫支部	13	3,110,054.0	2,997,636.0	103.75	3,081,999.0	100.91
築館支部	17	2,613,988.0	2,881,612.0	90.71	2,962,709.0	88.23
瀬峰支部	11	1,614,484.0	1,695,249.0	95.24	1,718,303.0	93.96
迫支部	14	3,488,610.0	3,109,308.0	112.20	3,196,815.0	109.13
中田支部	9	1,442,483.0	1,419,651.0	101.61	1,459,604.0	98.83
東和支部	9	1,347,622.0	1,368,662.0	98.46	1,407,181.0	95.77
志津川支部	8	1,256,913.0	1,355,327.0	92.74	1,393,470.0	90.20
本吉支部	11	1,425,544.0	1,428,885.0	99.77	1,469,098.0	97.04
石巻支部	7	1,366,794.0	1,349,880.0	101.25	1,216,002.0	112.40
豊里支部	13	2,544,236.0	2,686,762.0	94.70	2,699,767.0	94.24
みやぎの酪農	329	68,917,064.8	70,622,308.4	97.59	72,140,000.0	95.53

※ 出荷戸数については、直近の数字です。

畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催

指導課

3月10日(月)本所大会議室において、平成25年度畜舎環境美化コンクールの表彰式が行われ、入賞者に賞状と副賞が授与されました。最優秀賞の須藤しず子さんは併せて宮城県知事賞を受賞され、宮城県農林水産部畜産課草地飼料班技術補佐 半沢康弘様より賞状が授与されました。



講演会では、「綺麗な花壇をきれいに写すテクニック」と題し雪印種苗株式会社 宮崎研究農場長 立花正先生より講演をいただきました。



組合では、昨年度に引き続き平成26年度環境維持対策事業の一環として、環境保全意識の向上と消費者へのイメージアップを図るため、婦人部の皆様のご協力を頂き、5月下旬に組合員全戸へ花苗配布を行い、美化運動並びに美化コンクールを実施いたします。ご協力の方よりしくお願いいたします。

平成26年度 酪農ちびっ子勉強村 春季交流会に参加

指導課

3月26日～29日に3泊4日の日程で、東北酪農青年婦人会議主催による第31回「酪農ちびっ子勉強村」が開催されました。

この催しは東北の酪農家の子供達が、日本の政治・経済の中心地である東京都の渋谷区で地元子供会(渋谷区少年団体連盟)の家庭への宿泊、交流会へ参加することで交流を深めるとともに、都会での生活を体験することで見聞を広め、都市と農村の役割を知り、相互理解を深めることを目的とします。

今年は東北から5名が参加し、本組合からは石巻支部の高橋 公さんの孫の高橋玲奈さん(小4)、蔵王支部の廣谷和夫さんの孫の若菜さん(小6)、棕太さん(小4)の3名が参加しました。短い期間でしたが都会での生活を体験し、都会の子供達との交流を通じて楽しい思い出を作ってきたことでしょう。



生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会モニタリング実施

指導課

3月17日に「生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会」が県内4地区において、酪農生産現場での管理基準遵守状況とチェックリスト記入のモニタリングを実施しました。宮城県協議会は県・乳業メーカー・酪農団体・共済連・獣医師会・動物医薬品団体・飼料団体・検査団体で構成され、ポジティブリスト制度を担保する団体です。

今回のモニタリングでは、記帳・保管について実施していた酪農家がほとんどでした。



今後も、記帳・保管はもとより、処理室内の清掃・整備等を実施されるようお願いいたします。

第43回 東北酪農発表大会開催される

指導課

3月24・25日山形県上山市の『日本の宿 古窯』にて、東北酪農青年婦人会議主催による第43回東北酪農発表大会が開催されました。

今大会は、本組合の遠田支部（青年部では石巻支部）の齋藤常雄さんの後継者、齋藤常浩さんを含め「経営発表の部」3名、「意見・体験発表の部」3名の計6名が揃いました。当日は東北各地から約170名の参加があり、本組合青年部・婦人部からは、約20名が参加し、大変有意義な交流の場であったと思われます。

本組合から発表しました齋藤常浩さんは、『ピンチ！』を『チャンス！』に ～資源循環型酪農を中心とした地域農業の担い手として～と題して、①自給飼料、②自家育成、③資源循環型農業の三本柱を基本に、ご自身が後継して6年目の経営を威風堂々と発表致しました。

審査の結果、惜しくも齋藤常浩さんは最優秀賞を逃し、経営の部は『牛と共に歩む魅力ある酪農経営を

目指して』と題して発表しました山形県酪農青年婦人会議の高橋実さんが受賞しました。意見・体験の部では、『夢の実現！そして創造の輪へ』と題して発表しました宮酪青年婦人連絡協議会の安達麻美さんが最優秀賞を受賞されました。

東北代表者となりました、高橋さん、安達さんは来る7月17日（木）、18日（金）に宮城県仙台市で開催される全国酪農青年女性会議主催『第43回全国酪農青年女性酪農発表大会』に東北代表として出場し発表します。本県での全国大会は数十年ぶりとなりますので、ご参加お待ちしております。



TPPから『食とくらし・いのち』を守る 4・21県民集会開催される

日本酪農政治連盟宮城県支部連合会

4月21日、「TPPから食とくらし・いのちを守るネットワーク宮城」とJAグループ宮城の主催による、「TPPから『食とくらし・いのち』を守る4・21宮城県民集会」が仙台市役所前「市民広場」で開催されました。4月24日の日米首脳会談に向け「食の安全・安心」や「医療・保険」、「雇用」、「ISD条項」等、国民の暮らしに深刻な影響を及ぼす課題・分野についての情報開示や国民的議論が十分にされないまま、国会決議に反故するようなTPP「大筋合意」を阻止しようと、雨のなか、農協、生協、漁協、森林組合、商業者、医療関係者、消費者団体、市民など、約1,500人が参加しました。集会後は横断幕やのぼりを手に仙台市青葉区商店街をデモ行進し市民に「TPP交渉」の反対を訴えました。組合からは濱田組合長をはじめ総勢9名の役員が参加しました。





本所 販売課 **富士野 武志**

はじめまして。昨年5月より本所販売課に配属となりました富士野武志と申します。口頭ですとほぼ例外無く「藤野」だと思われそうですが、実際は「富士野」ですので、よろしくお願い致します。前職は、公益社団法人で、業務係をしておりましたが、ご縁がありましてこちらで働かせて頂くことになりました。

生まれも育ちも大崎市古川ですが、実は酪農に関しては全く縁の無い門外漢で、実践的な知識に乏しく、まだまだわからないことが多いため、ご迷惑をおかけしておりますが、日々精進させて頂きますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

～農家の皆様へ～

農家の皆様と直接接する機会はなかなかありませんが、補助事業等を通して、皆様のお役に立てるよう頑張らせていただきますので、これから始まる各種補助事業におきまして、積極的なご参加をお待ちしております。



哺育育成センター **熊谷 悟**

はじめまして。昨年11月より有期職員として本吉町にある哺育育成センターで勤務している熊谷悟と申します。出身は、気仙沼市本吉響高校です。

震災後、岩手県一関に移り住み、藤沢にある牧場で和牛に接して働いておりました。それまでは、酪農など畜産関係に関わる機会もなくまったくの素人でした。これからは、少しでも酪農のことを多く学び、1日でも早く仕事を覚えようと思います。仕事を覚えていく上で迷惑をかけてしまうかもしれませんがよろしくお願いいたします。



総務課 **山中 沙稀**

はじめまして。平成25年11月より本所総務課に配属なりました山中沙稀と申します。

出身は、栗原市瀬峰で出身高校は古川工業高校化学技術科です。卒業後は、ケーキやパンなどを販売するお店で販売スタッフをしておりました。今までは、サービス業に携わってきましたがずっと事務職に憧れておりました。

酪農の知識も事務の経験もなく不安でいっぱいでしたが、先輩方のご指導のもと少しずつですが酪農や総務についての知識が身に付いてきました。

まだまだ未熟ではありますが、先輩方のご指導のもと一日でも早く成長し、組合員の皆様に貢献していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

3月12日松島町「松島一の坊」において、日頃研修機会の少ない酪農婦人および酪農乳業関係の女性職員を対象とした「平成25年度酪農婦人研修会」が開催されました。

みやぎの酪農協、全農宮城県本部、宮城県酪農協、酪農乳業関係から総勢82名が出席しました。

濱田会長(みやぎの酪農協組合長)の挨拶、(一社)全国酪農協会今関常務より来賓祝辞をいただいたあと、信州大学大学院医学博士の能勢博氏から『インターバル速歩と牛乳』と題して講演が行われました。講演は、ダラダラと長く歩くよりも、「早歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返して効率的に歩く方が体力の向上や血圧低下に効果があり、運動後に牛乳など乳タンパク質を摂取することで生活習慣病の進行を止めることが期待できるとの内容でした。講演後の質疑応答では活発な意見交換がなされ有意義な研修会となりました。

講演会終了後の懇親会では、和やかな雰囲気の中親睦を深めていました。



4度目の優秀安全運転事業所表彰を受ける

指導課

3月4日、宮城県警遠田警察署に於いて、当組合の子会社である(株)みやぎの運送(社長 佐藤孝雄、従業員数26名)が、宮城県警察本部交通部長と自動車安全運転センター宮城県事務所長連名で4度目の優秀安全運転事業所表彰「銀賞」を受けました。

優秀安全運転事業所表彰は、2005年より全国一斉に始まり、全従業員の安全運転管理に運転記録証明書を一括申請し、参加する事業所の中で過去1年以内に全従業員の勤務時間外を含めて無事故無違反を達成した事を基準に宮城県警遠田警察署長より表彰状と記念品の盾をいただきました。「仙北管内での銀賞は、(株)みやぎの運送だけでした。全社員の意識の高さが結果へとつながり、今後も引き続き事故防止に努めて下さい。」と激励されました。

これからも一層の安全運転に努められ、安全な交通環境づくりに貢献されますようご期待します。

受賞おめでとうございます。



酪農動向調査

指導課

(単位: 戸・頭)

組 合 名	平成26年2月1日						平成25年2月1日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未經産牛 18ヶ月以上	18ヶ月未 満育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農組合 仙 南 支 所	122	5,763	3,110	430	751	1,472	125	5,856	3,337	419	628	1,472	-3	-93	-227	11	123	0
みやぎの酪農組合 本 所	157	4,839	3,102	416	447	874	169	4,986	3,274	456	391	865	-12	-147	-172	-40	56	9
みやぎの酪農組合 登 米 事 業 所	51	1,391	973	117	102	199	55	1,421	986	150	98	187	-4	-30	-13	-33	4	12
みやぎの酪農協	330	11,993	7,185	963	1,300	2,545	349	12,263	7,597	1,025	1,117	2,524	-19	-270	-412	-62	183	21
全農宮城県本部	98	3,184	2,064	282	385	453	104	3,330	2,184	302	347	497	-6	-146	-120	-20	38	-44
宮 城 酪 農 組 合	165	5,753	3,656	497	619	981	171	5,966	3,810	530	592	1,034	-6	-213	-154	-33	27	-53
宮 城 県 合 計	593	20,930	12,905	1,742	2,304	3,979	624	21,559	13,591	1,857	2,056	4,055	-31	-629	-686	-115	248	-76

第65回 通常総会・地区別説明会の開催について

総務課

下記の日程で開催いたしますので、多数のご出席をお願いいたします。

区 分	開 催 日 時	開 催 場 所	支 部 名
地区別説明会	平成26年6月10日(火) 午前10時30分	柴田郡大河原町 【ララ・さくら】	仙台・柴田・蔵王・名取・角田・丸森・白石・七ヶ宿
	平成26年6月11日(水) 午前10時30分	遠田郡美里町 【みやぎの酪農協】	築館・一迫・瀬峰・大崎・遠田・石巻・鳴子・黒川・加美
	平成26年6月12日(木) 午前10時30分	登米市迫町 【迫地方農業共済組合】	東和・迫・中田・豊里・本吉・志津川
通常総会	平成26年6月26日(木) 午前10時30分	黒川郡大和町 【まほろばホール】	

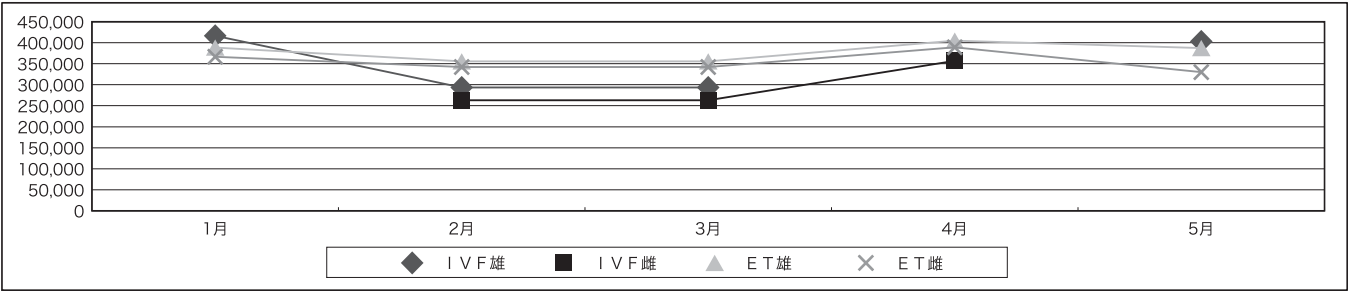
受精卵子牛市場情報

指導課

平成26年雌雄別平均価格推移(みやぎ総合家畜市場)

単位: 円

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
I V F 雄	416,500	293,667	293,667		403,000
I V F 雌		263,333	263,333	357,000	
E T 雄	388,310	355,441	355,441	404,769	387,138
E T 雌	366,462	342,111	342,111	388,833	330,333



理事会通信

総務課

【第12回理事会】

開 催 日	平成26年 3 月28日		
付議事項	第 1 号議案	平成25年度決算基準(案)について	
	第 2 号議案	目的積立金の取崩について	
	第 3 号議案	平成25年度決算推定について	
	第 4 号議案	平成26年度事業計画(案)について	
	第 5 号議案	役員賠償責任保険の更新について	
	第 6 号議案	理事会推薦理事候補者の選任について	
	第 7 号議案	(株)ミルクファーム蔵王関係者協議会の開催等について	
	第 8 号議案	平成26年度借入金の高限度額の決定について	
	第 9 号議案	平成26年度貸付金の利率の高限度の決定について	
	第10号議案	平成26年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額および畜産近代化リースの額の合計額)の高限度額の決定について	
	第11号議案	平成26年度の余裕金運用について	

【第 1 回理事会】

開 催 日	平成26年 4 月30日		
付議事項	第 1 号議案	監事に提供する決算書類の承認について	

3月 3日	平成25年度乳用牛群検定普及定着化事業研修会	大 和 町
3月 4日	(一社)宮城県畜産協会臨時総会	仙 台 市
	本吉支部研修会	気 仙 沼 市
	平成25年度畜産試験場試験研究成果報告会	大 崎 市
3月 5日	東北生販理事会	仙 台 市
	日本酪農政治連盟総会	東 京 都
3月 6日	DMS相談会	組 合 本 所
	宮城県ホルスタイン協会打合せ	組 合 本 所
	(一社)全国酪農協会第2回酪農未来塾 ～7日	東 京 都
3月 7日	経営支援ツール活用研修会・畜産経営者交流会	群 馬 県
	平成25年度畜産特別推進指導事業研修会	大 崎 市
3月 8日	国産ナチュラルチーズシンポジウム in 仙台	仙 台 市
	明治宅配活性化合宿「震災勉強会」	仙 台 市
3月10日	畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会	組 合 本 所
	日本政策金融公庫との打合せ	仙 台 市
3月12日	青年部親睦ボウリング大会	大 崎 市
	宮城県酪農協会婦人研修 ～13日	松 島 町
3月13日	(株)みやぎの運送取締役会	組 合 本 所
	損害賠償請求に係る責任者・担当者会議	仙 台 市
	平成26年度酪農関係対策事業推進ブロック会議	仙 台 市
	宮城県東部地方振興事務所管内畜産担当者会議	石 巻 市
3月14日	全酪連ブロック別会長・組合長会議	仙 台 市
3月16日	本吉支部グランドゴルフ大会	気 仙 沼 市
3月17日	志津川支部研修会	南 三 陸 町
3月18日	平成25年度決算研修会	名 取 市
	青年部大崎支部ボウリング大会	大 崎 市
3月19日	「あっぱれ」巡回推進 ～20日	本所・登米管内
	平成25年度監事決算研修会	名 取 市
3月20日	遠田支部役員会	組 合 本 所
	(一社)全国酪農協会役員会	東 京 都
	平成25年度ハイグレード稲発酵粗飼料利活用推進研修会	東 京 都
	青年部本吉支部研修会 ～21日	南 三 陸 町
3月24日	ヨーネ病検査(自主検査)に係る打ち合わせ	美 里 町
	東北酪農青年婦人会議東北酪農発表大会 ～25日	山 形 県
3月25日	みやぎまるごとフェスティバル実行委員会	仙 台 市
	青年部仙台支部ボウリング大会	仙 台 市
	Jミルク「ブロック会議」	仙 台 市
3月26日	東電農畜産物損害賠償対策宮城県協議会第32回総会	仙 台 市
	青年部石巻支部「酪農経営発表者を労う会」	登 米 市
3月27日	東北生販臨時総会・理事会	仙 台 市
3月28日	第12回理事会	組 合 本 所
	豊里支部研修会	南 三 陸 町
	日本酪農政治連盟宮城県支部連合会総会	組 合 本 所
3月31日	決算棚卸監査	仙南支所他
4月 1日	決算棚卸監査	組 合 本 所
4月 2日	築館支部総会	栗 原 市
4月 3日	瀬峰支部総会	栗 原 市
4月 4日	大崎支部総会	大 崎 市
	蔵王支部総会	蔵 王 町
	平成26年度除染済み草地から収穫された牧草検査等打合せ	仙 台 市
4月 7日	一迫支部総会	栗 原 市
	白石支部総会	白 石 市
	丸森支部総会	丸 森 町

4月 8日	鳴子支部総会	大 崎 市
4月 9日	1 区・区域推薦委員会	仙 南 支 所
4月10日	2 区・区域推薦委員会	組 合 本 所
4月11日	畜産みやぎ編集委員会	仙 台 市
	3 区・区域推薦委員会	登米事業所
4月15日	遠田支部総会	涌 谷 町
4月16日	(株)ミルクファーム蔵王関係者協議会	組 合 本 所
4月17日	角田支部総会	角 田 市
	石巻支部総会	石 巻 市
4月18日	(一社)全国酪農協会東日本地域役員会 ～19日	新 潟 県
	平成26年度高度化支援リース事業推進全国会議	東 京 都
4月21日	加美支部総会	加 美 町
	日豪E P A大筋合意についての説明会	仙 台 市
	平成26年度事業実施補助事業説明会	仙 台 市
	T P Pから「食とくらし・いのち」を守る宮城県集会	仙 台 市
4月22日	支部長会議	組 合 本 所
	東電損害賠償対策宮城県協議会第33回総会	仙 台 市
4月23日	生乳の清浄化に係る東京電力との打合せ	仙 台 市
	豊里支部総会	登 米 市
4月24日	上原酪農組合総会	大 崎 市
	平成26年度事業全国説明会	東 京 都
	酪農生産基盤維持緊急支援事業等に係る説明会	東 京 都
	管内市町・農協等畜産担当者会議	登 米 市
4月25日	東和支部総会	南 三 陸 町
	飼料自給力強化支援事業に係る全国推進会議	東 京 都
	平成26年度宮城県総合畜産共進会運営委員会	美 里 町
4月28日	宮城県酪農団体協議会	組 合 本 所
4月30日	第1回理事会	組 合 本 所
	(株)みやぎの運送取締役会	組 合 本 所

人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	小原 亜祐美	仙南支所総務係	仙南支所総務係(有期契約職員)	平成26年4月1日

[編 集 後 記]

5月に入り、新緑や草花が色鮮やかな季節になりました。畜舎もほとんどが衣替えを終えたところでしょう。今年も残暑が続くことが予想されますので、早めの暑熱対策を慣行しましょう。

7月17・18日に仙台市「メトロポリタン仙台」で全国酪農青年女性会議主催の酪農発表大会が開催されます。本県での開催は約30年ぶりですので、全国の酪友と交流するまたとない機会ですので、是非ご参加下さい。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....